

# 新報

島根県教育庁  
隠岐教育事務所  
隠岐の島郡瀬戸町24  
電話 2-9772

## 社会教育スタッフから

### 地域づくりは 人づくりから

島根県の社会教育行政では、「地域づくりを担う人づくり」を進めています。「地域づくりを担う人」とは、地域への関心が高く、地域の役に立とうとする当事者意識と使命感を持ち、地域のために動くこととする実践力・行動力のある人のことです。この人づくりを目指して、次の二つのことに重点をおいて取り組んでいます。

#### 【学校・家庭・地域の連携・協働】

この取組は、「ふるさと教育」など、今までも地域ぐるみで取り組んできたもので、一定の成果も挙げてきています。今後、ふるさとへの愛着を持ち、地域に貢献しようとする子どもを育成するために、家庭（保護者）、

地域（住民）など地域住民全てが子どもたちに関わる当事者としての意識を高め、積極的に関わっていくことを推進していきます。

そのためには、地域住民がサービスを期待する受け身から、それぞれが主体となつて子どもたちに関わっていくことが求められます。また、学びをおし、住民同士が関わつたり新たな関係を築いたりしながら、大人も子どもも学び合い育ち合う環境づくりを大切にしていきます。

#### 【地域づくりに向けた体制づくり】

住民の学びを支援する仕組みや体制づくりの拠点になるのが社会教育施設です。その中核をなしているのが「公民館」です。くまなく「公民館」における人づくりが進められるためには、「公民館活動」の充実につながる支援が必要です。地域課題解

## 学校教育スタッフから

### 負んぶ

（文責 林）

決に向けた学びの場の提供、学んだ成果を生かした実践化に向けた動きを創る活動などに積極的に取り組む「公民館」に対して、支援の充実を図っていくことで地域づくりにつなげていきます。

先日の休日のことである。小学生の娘が何か言いたそうな様子だったので、「どうしたの？」と聞いた。もじもじしている娘を何となく『負んぶ』した。しやがんで娘の方に背中を向けると、ぶつかるときに落ちてきた。そして縁側から庭を見ながら、ゆつくりと話を聞いた。

周りの雑音が消え、娘の鼓動が背中に伝わる。話し始めた時の娘の体は少し堅く、何となく軽い感じがしたが、しばらくすると力が抜け、ずつしりと重さが伝わってきた。数分間ではあったが、お互いに落ち着いて話をする事ができた。その時、以前講義で聞いた、

話を聴く時の基本姿勢を思い出した。「うなずきながら聴く」「相手の目を見て聴く」「体を向けて聴く」の三つだったように思う。『負んぶ』はちよつと違う。うなずくのではなく、体の微妙な動きと、声の振動を相手に伝える。同じ方向を見ているので相手の目は見えない。体を向けるのではなく、温もりを伝える感じ…。

の高さ？を感じた瞬間であった。話を聴く時の基本姿勢パートⅡ「相手に波長（鼓動や呼吸）を合わせる」「相手の思いを肌で感じる」「頭ではなく心で受け止める」というのはどうだろうか。聴く姿勢も含めて、今までついつい方法論や技術的な内容を重視した対応をとっていた自分を反省した。本当は、もっともつと大切にしなければならぬ事がそこには隠れているはずなのに…。

私たちが指導主事や教員が、相手の本当の気持ちや状況を的確に把握し、しかるべき対応や指導・助言など完璧にできるはずもない。だとするならば、せめて相手に波長を合わせ、肌で感じたことを大切に、心で受け止めることが大切な対応なのかもしれない。方法論や形、テクニクばかりにこだわらず、常に学校に、先生に、そして子供に寄り添いたいと思うこの頃…。

負んぶに抱っこはあまり勧められないが、たまには『負んぶ』を試してみるのもいい。  
（文責 永島）

種別	学 校 名	等 等
①子ども読書活動推進事業	管内全小中学校	平成29年度
②にこにこサポーター事業	西ノ島小学校・西郷小学校中条小学校	平成29年度
③ふるさと教育推進事業	管内全小中学校	平成29年度
④いじめ対応支援事業	全町村	平成29年度
⑤スクールカウンセラー活用事業	全中学校・西郷小学校・西ノ島小学校	平成29年度
⑥スクールソーシャルワーカー活用事業	全町村	平成29年度
⑦教育支援センター等運営事業	隠岐の島町	平成29年度
⑧しまねのふるまひ体験活動推進事業	海士町・西ノ島町・知夫村・西郷小学校	平成29年度
⑨複式教育推進指定校事業	北小学校	平成29年度
⑩教育課程研究指定校事業(体育)	西ノ島小学校	平成29・30年度
⑪算数授業改善推進校事業	磯小学校	平成28・30年度
⑫学校図書館活用教育研究事業	西郷小学校	平成28・29年度
⑬金銭教育研究校	五箇小学校	平成28・29年度

